



旧大沢家住宅

この住宅は、江戸時代中期までの典型的な房総民家の形式を今に伝えています。その特徴として、開口部が少なく「デイ（出居）」の戸口が格子窓と壁だけで構成されていること、差鴨居が少ないこと、大黒柱が使われておらず床の間もないことなどがあげられます。

「ドマ（土間）」では民具を展示し、午前中はカマドで火を焚いています。古民家ならではの落ち着いた雰囲気と趣が楽しめます。

※天候により、カマドで火を焚かない日があります。

千葉県指定有形文化財（昭和50年12月12日指定）

旧大沢家住宅は、寛文4年（1664）に建築された東日本最古級の古民家です。江戸時代に分家したくにながらぐんみやなりむら上総国長柄郡宮成村（現在の千葉県長生郡長生村）の名主をつとめた大沢家の住居として、昭和48年（1973）まで使用されてきました。昭和51年、建築当初の姿に移築復原され、同年11月に開館しました。

千葉県指定有形文化財（昭和50年12月12日指定）

藤崎森林公園・旧大沢家住宅



- 「京成津田沼駅」から徒歩20分
- バス
 - ・ハッピーバス（習志野市コミュニティバス）
 - 「京成津田沼駅」南口から「京成津田沼駅内陸ルート」、または新京成線「新津田沼駅」北口から「京成大久保駅ルート」で「企業局西」下車徒歩10分
 - ・京成バス
 - JR総武線「津田沼駅」北口から、「三山車庫行き（津01）」・「二宮神社行き（津02）」・「八千代台駅西口行き（津21）」・「日大実翔行き（津03）」・「八千代台駅行き（津31）」で「藤崎森林公園入口」下車徒歩8分
 - JR総武線「津田沼駅」北口から、「習志野企業局行き（津32）」で「習志野企業局」下車徒歩8分
 - 駐車場有 ※藤崎森林公園駐車場をご利用ください。

旧大沢家住宅

- 所在地
〒275-0017 習志野市藤崎1丁目14番43号（藤崎森林公園内）
- 開館時間 午前9時30分～午後4時30分（※11月～3月は午後4時閉館）
- 休館日
毎週月曜日（休日の場合は翌平日）
毎月第2金曜日（休日の場合は前日）、12月29日～1月4日
- 入場料 無料

連絡先

習志野市社会教育課 文化財係 電話：047-451-1151（代表）（内線：462）

四季の移ろいを伝えてくれる草、木、花々、そしてカワセミが姿を見せる池。藤崎森林公園とそこに移築された「旧大沢家住宅」は心なごむいこいのスポット。ほんの少し昔のこの国はこんなに魅力的だったのだと思わせられます。



七夕飾りは、6月26日(金)～7月7日(火)を予定しています。
おはなし会は未定です。

※旧大沢家住宅は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、5月6日(水)まで臨時休館となっております。
今後の状況によっては、七夕飾りは中止になる可能性があります。

昨年、令和になって初めての七夕飾り。願いを込めたたくさんの短冊が飾られました



旧木曽王滝森林鉄道

その翌年の11月に習志野市が譲り受け、現地に移設されました。
ディーゼル機関車・運材台車・客車を連結した状態で展示し、王滝村中心部の最寄り駅であった「田島停車場」を再現しています。
レール及び枕木も木曽王滝森林鉄道で使用されていたものです。

旧大沢家住宅が所在する森林公園では、「旧木曽王滝森林鉄道」を静態保存し、展示しています。
木曽王滝森林鉄道は、かつて長野県の本曾谷に存在した全長48.4キロメートルの鉄道です。
主に本曾谷の国有林で伐採した木材(ヒノキなど)の運搬を担って

旧木曽王滝森林鉄道

いました。また、地元の人々の要望により、生活必需品の輸送として、また、林業関係者や地元住民の足としても活躍していました。
しかし、道路の整備によりトラック輸送が主流になったことや、鉄道沿線全体において伐採量が減少したことにより、昭和50年(1975)3月に廃線となり、51年の歴史を閉じました。
現在、森林公園に展示されているディーゼル機関車は、昭和15年(1940)に製造され、木曽王滝森林鉄道が廃止されるまで使われていたものです。

その翌年の11月に習志野市が譲り受け、現地に移設されました。
ディーゼル機関車・運材台車・客車を連結した状態で展示し、王滝村中心部の最寄り駅であった「田島停車場」を再現しています。
レール及び枕木も木曽王滝森林鉄道で使用されていたものです。



新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、5月6日(水)まで旧大沢家住宅の内部には入れません。
(4月17日現在)



旧大沢家住宅の内部(デイ)



旧大沢家住宅の内部(ヨジョー・ザシキ・オクノマ)



旧大沢家住宅の間取り

建物の規模・規格

かやぶきひらやよせむねづくり
茅葺平屋寄棟造

- ・床面積 144.7平方メートル(ひさし 廂部分を含まず)
- ・桁行 17.9メートル(ひさし 廂部分を含む)
- ・梁間 9.5メートル(ひさし 廂部分を含む)
- ・棟高さ 7.1メートル



池の水 ぜんぶ抜きました —2017年5月28日—



森林公園の下池にて、昔のきれいな池を取り戻すため、テレビ番組の協力を得て、平成29年5月28日に池の水を抜き、外来生物の捕獲やゴミの清掃作業を行いました。

池の中にいる外来生物の捕獲を目的として、テレビ番組の協力を得て作業を実施しました。

当日は、約90人の地元の町会、大学、高校生などのボランティアが集まり、泥だらけになりながら作業を行ないました。

作業前の池は、水草を食べる魚により、濁りがひどい状況でした。作業実施後は約2週間経過してから池に水を戻し、作業前と比べ、水の澄んだきれいな池となりました。



捕獲されたミシシippアカミミガメ



きれいになった下池

作業は前夜からの水抜きに始まりました。大きな2台のポンプで水抜き。
翌日、一部池の水を残した場所に魚を追い込んで捕獲。みんなが泥だらけになりながら作業しました。

この作業の目的は「外来生物駆除作業」。捕獲した外来生物は約1000匹。
特殊外来生物のブルーギル

は殺処分。その他の外来生物へミシシippアカミミガメ、アメリカザリガニ、マゴイ、クサガメ、ソウギョなど）は別の場所に移し管理しています。

この様子はテレビ東京系列の『池の水全部抜く』で2017年6月25日(日)放映されました。

「藤の花」咲く森林公園に思いを寄せて

藤崎連合町会会長

江澤 康雄

東金街道を走る京成バスの停留所の名前が「電話局」から「藤崎森林公園入口」に変わって数か月、乗客はその名前になじんでいるようです。

藤崎森林公園は昭和51年4月開園、以来44年の歴史を刻んで地域に馴染んだ公園です。春、桜が咲き、藤の花が水面に景を映し、初夏、花菖蒲が花をつけ、カワセミやさぎなど季節に応じて鳥たちも訪れ、四季折々の風情をおりなしています。美しさが心に残る場面を演出しております。

ここ藤崎は徳川家康が東金方面に狩りに出掛けたとき、見事な藤の花が咲いていたので「藤咲」と名づけたと伝えられています。そして「咲」は子安神社の祭神「木花咲翁耶姫命」の咲であり、この字を使うことは恐れ多いと後日「崎」の字をあてたとのことでした。

この様な藤崎の歴史を大切にしながら「藤崎よいとこ音頭」に歌いこまれていた藤崎森林公園、この藤崎地域が藤の花を中心に人々の憩いの場、健康スポットになることに思いを託しております。

藤崎森林公園の近年の話題



藤崎7丁目 あかしあ会

会長 久留島 悦彦

藤崎森林公園は、春の桜、5月の藤、6月の菖蒲、11月のモミジがとてもきれいです。

2017年5月28日、池の外来魚駆除を目的に掻い堀りを行いました。

テレビの放映もあり、ご記憶の方も多いと思います。

宮本市長、伊集院静さんも奮闘され、草魚や、多くの外来魚、多数の赤耳亀が捕獲されました。

池には日本固有の魚が増えてきました。

また、池の水を浄化するため、ナノバブル発生装置が設置され、現在では池の底まで見通せ、悪臭も無くなりました。

また、2019年11月29日には、森林公園をモミジの名所にするを旨指してイロハモミジが26本植樹されました。

現在、山の斜面に、若葉を付けたモミジを見ることが出来ます。

ぜひ、皆さん、訪れてみて下さい。

寄せる思い

寄せる思い